

鉄鋼スラグ製品

その他

コンクリート用骨材

以下に示す粒度や品質は、JIS A 5011-1コンクリート用スラグ骨材
—第1部：高炉スラグ骨材と同等です。

高炉スラグ細骨材

特長

- 粒度調整や塩化物量低減等の目的で他の細骨材と混合使用することができます。
- 潜在水硬性により長期にわたるコンクリート強度の増加が期待できます。
- アルカリ骨材反応を生じる恐れはありません。

種類（粒度による区分）

区分	粒度範囲 mm	記号	ふるいを通るもののは質量分率 %						
			ふるいの呼び寸法 mm						
			10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15
5 mm高炉スラグ細骨材	5 以下	BFS5	100	90～100	80～100	50～90	25～65	10～35	2～15
2.5mm高炉スラグ細骨材	2.5以下	BFS2.5	100	95～100	85～100	60～95	30～70	10～45	2～20
1.2mm高炉スラグ細骨材	1.2以下	BFS1.2	—	100	95～100	80～100	35～80	15～50	2～20
5～0.3mm高炉スラグ細骨材	5～0.3	BFS5～0.3	100	95～100	65～100	10～70	0～40	0～15	0～10

・ふるいの呼び寸法は、それぞれJIS Z 8801-1に規定するふるいの公称目開き9.5mm、4.75mm、2.36mm、1.18mm、600μm、300μm及び150μmです。

品質

項目		規定値
化学成分	酸化カルシウム (CaOとして) %	45.0 以下
	全硫黄 (Sとして) %	2.0 以下
	三酸化硫黄 (SO ₃ として) %	0.5 以下
	全鉄 (FeOとして) %	3.0 以下
絶乾密度	g/cm ³	2.5 以上
吸水率	%	3.0 以下
単位容積質量	kg/L	1.45以上

・粗粒率、微粒分量、環境安全品質については、JIS A 5011-1をご確認下さい。

上記の溶融状態のスラグを水で急冷し、粒度調整してつくられる骨材の他に、溶融状態のスラグを徐冷した高炉徐冷スラグを湿式で篩分けし、微粒分を洗浄除去したコンクリート用高炉徐冷スラグ細骨材もあります。